

に こにこ笑顔で

い いつもみんなで

つ 紡ぎ繋げる心で

に 日本一をめざすのだ

感動・感謝・感激！

みんなを目指す真の「3冠(かん)」

「日進月歩 ～今この瞬間全力で～」のスローガンのもと、いよいよ明日は、待ちに待った新風祭(体育祭)です。

私は、いつも皆さんが頑張っている姿を見る側の立場ですが、運動やスポーツや文化活動等に関して観覧・観戦する立場から得られる感動の種類というのは、大きく分けて3つに分かれると考えています。

一つ目は、「トップレベルの技術や力」に接したときです。オリンピック、世界選手権、ワールドカップなどの国際大会や、各種プロ選手、一流選手の超絶たるプレーや演技、または同じ中学生でも全国大会に出場する程の技術や力に接すると、なるほど感嘆と憧憬の思いに駆られます。

二つ目は、「自分がファンであったり、自分が応援しているチームや選手、自分の所属する集団のチームや選手の活躍」に接したときです。例えば、新潟アルビレックスの勝敗に一喜一憂して心躍らせるのも、オリンピックの日本人選手の応援をするときに熱が入るのも、この部類に伴う感動でしょう。

そして三つ目は、「個人個人が最大限の力を発揮している姿」に接したときです。もちろん、皆さんは、オリンピック選手でもプロのアスリートでもありません。運動が得意な人も苦手な人もいるでしょう。足が速い人も遅い人もいます。走れば、途中で転んだりすることもあるかもしれません。でも、能力や素質などに関係なく、人間が必死に歯を食いしばってひたむきに頑張っている姿ほど、見る者の胸を打つことはありません。

これら三つの感動の中で、この三つ目の感動こそ、特定の人だけ特別な人間だけが味わう感動ではなく、すべての人が共通して強く思いを抱く、最もかけがえのない感動だと受け止めています。

そして、この感動を得られるのもまた、体育祭の最大の魅力だと思います。

そんな互いのひたむきさや一生懸命さの目撃者として、チームの仲間と支え合い高め合い励まし合い、そして、チームの垣根を越え、互いに認め合い、互いに応援したくなるような、そんな熱い熱い戦いを期待しています。

皆さんがめざすのは、競技・パネル・応援の「3冠」でなく、『感動・感謝・感激』の「3冠(かん)」であってほしいと願うのです。

仲間と心一つに、クラスで心一つに、チームで心一つに、そして最後は全校で心一つに、最高のノーサイドを迎えましょう。